



種継人会

在来作物はなぜ貴重なのでしょうか？
いや、本当に貴重なのでしょうか？

私は「在来作物は貴重である」という前提に立つて考へると、返つてその作物の持つ可能性を狭めてしまうのではないかと考えています。ともするとそれ以外の例えは市販のF1品種は危険だとか、多国籍企業による種の支配を防ぐとか、極端な方向や価値観を周囲に押し付けたりすることになつてしまふのではないだろうか？それもまた必要なことかもしれないけれど、今の社会で見捨てられつつあるもの『価値を失っているもの』という前提に立つことが大切ではないかと考えています。

農業は戦後、選択的拡大と称して、食べるためを作る自給を捨て、売るために効率良い作物を選択して面積を拡大する方向で進歩してきました。そのお蔭で今の日本には豊かな農産物が溢れています。しかし一方その陰で農山村では高齢化が進み、農業の担い手は減る一方です。これは一体何故なのでしょうか？

一番の原因是農業という職業が「誇りが持てない仕事」になつてしまつたことが大きいのではないか。「売るため」に特化してゆくことで、農業が持つてゐる「食べる人の笑顔と命を支える」という本来の機能が見えにくくなつてしまつたのではないか、と考えます。

農業は戦後、選択的拡大と称して、食べるためを作る自給を捨て、売るために効率良い作物を選択して面積を拡大する方向で進歩してきました。そのお蔭で今の日本には豊かな農産物が溢れています。しかし一方その陰で農山村では高齢化が進み、農業の担い手は減る一方です。これは一体何故なのでしょうか？

私は「在来作物は貴重である」という前提に立つて考へると、返つてその作物の持つ可能性を狭めてしまうのではないかと考えています。ともするとそれ以外の例えは市販のF1品種は危険だとか、多国籍企業による種の支配を防ぐとか、極端な方向や価値観を周囲に押し付けたりすることになつてしまふのではないだろうか？それもまた必要なことかもしれないけれど、今の社会で見捨てられつつあるもの『価値を失っているもの』という前提に立つことが大切ではないかと考えています。

山形大学の江頭先生は、「在来作物は誇りである」と表現されました。この会の活動を通じて、在来作物を「農家の誇り」から「地域に生きるみんなの誇り」にまで育ててゆくことができればいいなと思っています。今まで一部の農家さんが細々と守つてきただ種を、「みんなの笑顔と命を支える種」として育ててゆこうではありませんか。今年は「ほうき草」と「娘来た小豆」に絞って活動する予定です。調査と掘り起しも続けてゆきます。みんなで実り多き一年にしてゆきましょう。どうぞよろしくお願ひいたします。

また、交流会で在来大豆をおわけしたかたの二種類の小豆栽培と、河合でたつた一人になつてしまつた横山さんによる籠作りの農作業支援を重点的に活動していきます。

種継人の会では、今年「娘来た」「娘来たか」の二種類の小豆栽培と、河合でたつた一人になつてしまつた横山さんによる籠作りの農作業支援を重点的に活動していきます。

それぞれの活動にあたつては、皆様にご連絡お誘いを差し上げますので、ぜひ、一緒に在来種とその在来種を伝えてきた地域を知るためのイベントにご参加くださいますようお願いいたします。



種継人の会代表 布施大樹



交流会ご参加ありがとうございました ～会費納入のお願い～

生涯学習フェスティバル後の交流会、大勢の皆様のご参加をいただきありがとうございました。在来種への関心の高さを改めて感じました。交流会の反省会等をへて、種継ぎ人の会は会としての形を整えて行く準備をすすめてきました。継続した、自立的な活動を進めるため、会員会費をお預かりすることで合意しました。入会ご希望の方はお手数をおかけしますが、お近くの会員に会費をお預けいただくか、あるいは下記口座まで会費の納入をお願いいたします。また、今後の連絡は基本的にメールで、活動の報告はウェブサイトを中心に行っていきたいと考えています。メール連絡への理解とご協力も併せてお願い致します。

会員年会費：1,000円

ゆうちょ銀行

種継ぎ人の会(タネツギビトノカイ)

記号：10630 番号：15285671

年間の活動予定

六月	籠種まき、小豆種まき
七月	草取り
八月	草取り
九月	籠収穫
十月	小豆収穫
十一月	籠ワークショップ及び次年度募集
十二月	籠ワークショップ及び次年度募集